



国際会長 (IP) Moon Sang Bong (韓国)

“Yes, we can change” 「私たちは変えられる」

“Courage to challenges” 「挑戦への勇氣」

会長 古田 和彦
副会長 古賀 健一郎
書記 金子 功
会計 伊藤 誠彦
直前会長 金子 功

アジア地域会長 (AP) 田中 博之 (東日本区)

“Action” 「アクション」

“With Pride and Pleasure” 「誇りと喜びを持って」

東日本区理事 (RD) 宮内 友弥 (東京武蔵野多摩)

「為せば、成る」

“No challenge, No fruit”

湘南・沖縄部部長 (DG) 佐藤 節子 (厚木)

「心を元気に きずなを深めあえるワイズをめざそう！」

横浜クラブ会長 (CP) 古田 和彦

「YMCA、ワイズメンと共に！」

“With YMCA, With Y's Men”

監事 松島 美一
ブリテン 古賀 健一郎
担当主事 青木 一弘

<今月の聖句>

松島 美一

ペトロは彼らに言った。「悔い改めなさい。めいめい、イエス・キリストの名によって洗礼 (バプテスマ) を受け、罪を赦していただきなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けます。」

(使徒言行録2章38節)

今月のひとこと

「2018-2019 年度をふりかえって」

古田 和彦



昨年7月、当クラブの会長に就任し、はや、11か月が過ぎました。今月の強調テーマは「評価」となっています。正式には7月の総会にこの一年を総括して評価しなければなりません、とりあえず、自分なりの評価を出しておきたいと思っています。

クラブ主題を「YMCA、ワイズメンと共に！」と定めた一年でした。ワイズメンズクラブはYMCAの考え方、それに基づく諸活動に賛同し、支援することを最大の目的としている団体ですから、先ずは、YMCAの行っている諸活動をより深く理解することが必要です。

そのため、この一年の卓話は、YMCAの職員の皆さんから、担当している事業の意味、具体的活動、その効果などを

お聞きしました。また、例年同様、日本語スピーチコンテストと幼児サッカー大会は共催・支援し、エイズ文化フォーラム、チャリティーラン、ウエルカムフェスタ、クリスマス会、会員大会、会員総会とYMCAが行う諸行事にはクラブ会員の多数が参加しました。

クラブの皆さんにとっても具体的なYMCA活動の理解は深まったのではないかと思います。今年4月には中央YMCAの2019年度キックオフミーティングに参加しましたが、改めて感じたことは、横浜クラブは直接的には中央YMCAを支援するワイズであるということです。

このように、YMCAとの共働、理解お進みましたが、もう一つの課題であります「ワイズメンと共に」、違う言葉で言うなら、ほかのクラブメンバーも含んだワイズ同士の交わり、仲間づくり、その先にある新しい会員の獲得という面では、つづきクラブとの富士山YMCAでの一泊合同例会以外には見るべきものはありませんでした。

また、地域活動の見直しも十分ではなかったと反省しています。次年度、再度、会長を続けさせていただきますので、今年度できなかった点は謙虚に反省し、90周年を迎えるワイ

<2019年5月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F
13名	メン 5名 メネット 0名 コメット 0名 ビジター 11名 ゲスト 3名 合計 19名	69 % (メーキャップ 4名含む) 前月修正 出席率 %	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 2090g 現金 1258円

＜6月の行事予定＞

強調月間「評価」

日	曜	時間	行事内容	場所
1-2			東日本区大会	東京
4	火	19:00	Y-Y s 協議会	中央Y
13	木	18:30	第一例会	中央Y
15	土	14:00	第4回部評議会	中央Y
16	日	16:00	横浜つるみクラブ チャーターナイト	鶴見中央地域 ケアプラザ
27	木	17:00	第二例会	中央Y

ズメンズクラブに恥じない活動を進めたいと思いますので各位のご協力・ご助力を切にお願いいたします。

「5月第一例会（横浜・横浜つづき・横浜つるみ合同）報告」

古田 和彦

日時：5月24日（金）13：30～25日（土）9：00

場所：富士山YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ

出席者：（横浜）遠藤、金子、古賀、齋藤、古田（つづき）
今城高之、今城宏子、岡崎さよ子、岡田勝美、岡田美和、久保勝昭、鈴木恭子、鈴木茂、辻剛、山中奈子、横田孝久（つるみ）久米康子、中村純子

ゲスト：村田彰宏（講師） 計19名

横浜クラブの5月第1例会は、つづきクラブが毎年行っている一泊の富士山例会に加わり、6月16日にチャーターナイトを迎える横浜つるみのメンバーも含め、3クラブ合同で行った。当クラブは例年ならこの時期は上郷森の家で一泊での第1例会・研修会を行っていたが、森の家が改修で使用でき



雄大な富士山を背に合同例会参加の皆様

まず、24日（金）13：30から第1部、本例会を行った。

司会は久保ワイズ、岡田つづきクラブ会長の点鐘で開始。一同で、ワイズソングを歌い、ワイズの信条を唱和し、鈴木茂ワイズが今月の聖句、ヨハネによる福音書20：19を朗読のち、相賀ワイズからのメッセージを代読し、祈祷をささげた。

続いて、当富士山YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ所長の村田彰宏さんから、施設の現状、利用状況など説明を受ける。広い敷地に今日もそうだが、キャンパーが多く訪れ、

利用者も年間1万2千人を超えているとのことであった。キャンパー以外にも企業研修、ロケ撮影、パラグライダーの大会などにも利用されている。

そのあと、当クラブ金子ワイズが「横浜クラブの歴史について」。YMCAの成立、ワイズメンズクラブの成立と日本への伝播を述べ、横浜クラブは1930年に大阪クラブのスポンサーにより日本で3番目にチャーターされたクラブであること、日本大会・東日本区大会をホストし、また、理事等多くの役職を諸先輩が歴任してきたこと、同時に、たくさんのクラブをチャーターしてきたことなどが語られた。

次いで岡田会長の司会で参加者が自己紹介を兼ねて、ワイズの楽しさや、現在の心境などを語り合った。ハッピーバースデーは岡崎さよ子ワイズ、齋藤由也ワイズ、鈴木茂ワイズで、歌声と記念品でお祝いした。

予定より時間が延び、15：43横浜クラブ古田会長の点鐘で第1部を終了した。

そこでそれぞれチェック・インし、第2部バーベキューに。つづきクラブの方々が食料・飲み物を準備してくれていて、また、会場セットや火をおこすなど昔取った何とかで楽しみながら準備してくれる。

そのほかの私たちは食材の一部にとタケノコ採りに向かう。竹林の中を探すがなかなか見つからない。

その中で遠藤ワイズはすごい。タケノコのありかを見つける天才であることが分かった。結果的にはかなりの量をゲットすることができた。17時過ぎからいよいよ食事。大いに飲み、食べ、語り合い、始めるときは明るかったのにあつという間に闇の中、十分堪能した。後片づけののち、ホールに戻り、歌の広場で夜を過ごした。

5月25日（土）この日も昨日同様雲一つない素晴らしい天気。7：25一同グリーンチャペルに集合し、鈴木茂ワイズの司会で早天黙想会。讃美歌「山辺に向かいわかれ」を歌い、聖書マタイ4：1～4を読んだ後、古田ワイズが「人はパンだけで生きるものではない」と題して感話を行った。8：00から朝食をいただき、今夜の横浜YMCA会員総会で会いましょうと声を掛け合い9：00散会した。

ここからは個人の感想になるが、まず、2日間素晴らしい天気恵まれ、富士山のくっきりはっきり雄大な姿に感動した。25日朝早く起きて散歩をしたが、富士山の左山裾側から太陽が昇るところも見ることができた。

解散後、横浜クラブの遠藤、金子、古賀、古田の4人は車で田貫湖、白糸の滝を經由して帰ってきたが、どこも好天のせいもあり素晴らしい気持ちの良いところであった。

そして今回、何よりも、つづき、つるみと合同で例会を持ち、ワイズメンとしての連帯を深めることができたことが一番の喜びである。つづきの皆さんには大変お世話になりました。ありがとうございました。



平和の鐘の前で横浜クラブ参加者

「2019年度横浜YMCA会員総会報告」

古賀 健一郎

5月25日(土)17時から、湘南とつかYMCAにおいて、2019年度の横浜YMCA会員総会が開かれた。総合司会は総会準備委員の齋藤百合子さんが、奏楽は江口世都さん(YMCAつるみ保育園)が務められた。

開会礼拝では、讃美歌412番を讃美。聖書は2019年度横浜YMCA基本聖句であるマタイによる福音書20章28節「仕えられるためでなく仕えるために」。司会者の岸宗克明さん(総会準備委員)のお祈りの後、『愛すること、仕えること』(日本YMCA基本原則の歌)の讃美。『横浜YMCA—私たちの使命—』の交読と黙祷、総会準備委員長の金井 之広さんの挨拶をもって礼拝を終え、続いて会員総会となった。

議長は横浜YMCA常議員会議長の松橋秀之さん、副議長は横浜YMCA常議員会副議長の鈴木茂さん、書記には浦出昭吉さん(横浜とつかワイズ)、職員に加藤誠さんが選ばれた。230名の出席者があった。

議長の指名により、田口努総主事が、第1号議案「2018年度事業及び会計報告の承認」、第2号議案「2019年度全体事



業方針・計画案及び予算案の承認」を提案・説明し、質疑ののち異議なく承認された。続いて、第3号議案「横浜キリスト教青年会会則変更の件」が上程され承認された後、プロテクト・ア・チャイルドの募金アピールがあり、募金額は3.5人の年間支援分に当たる128,651円であった。

小休憩の後、特別プログラムとして、「Yプレゼンテーション〜私とYMCA〜」があり、横浜YMCAの未来を繋ぐユースの方々のプレゼンテーションがあった。

第4号議案「常議員の選出」が上程され、新任4名、改選(2期目)・留任4名の選任が行われた。

第5号議案「会員表彰」では、72名のリーダーが奉仕賞を受けた。また、「奉仕の書」には横浜YMCAをはじめ全国のYMCA、学生YMCAの指導者として活躍された関田寛雄氏が受賞の荣誉に輝いた。

閉会式では、YMCA理事長の工藤誠一さんのご挨拶、田口努総主事のご挨拶があった。閉会式後、写真撮影を終え、20時30分終了した。

横浜クラブからの参加者は、金子、古賀、齋藤、田口、古田の各ワイズ

「横浜とつかクラブ25周年記念式報告」

金子 功

5月18日(土)湘南とつかYMCAの創立と時をほぼ同じくして誕生した横浜とつかクラブの設立(創立)25周年記念式が湘南とつかYMCAの感謝会と併せ行われた。とつかYMCAの職員、リーダー、ボランティアのほか、ワイズメンではとつかクラブのメンバーに加え湘南・沖縄部各クラブの代表が参加し総勢では100人に近い関係者がこの25周年記念を祝った。

記念式のプログラムは3部構成:第1部は湘南とつかYMCAの感謝礼拝、第2部はとつかクラブの記念式、第3部は祝会(感謝・交流会)であった



感謝礼拝では湘南とつかYMCA大高聡館長の司会により讃美歌を唱和、今年度の基本聖句が朗読された後、湘南とつかYMCA運営委員の戸塚ルーテル教会の清水臣牧師より「人に仕えられるためではなく仕えるため」の意味についてのメッセージをいただいた。礼拝は国際地域協力募金への感謝献金をもって終了した。

第2部はとつかクラブの記念式である。瀬戸俊孝クラブ担当主事の司会により加藤利榮元会長による開会点鐘が始まった。参加者全員でワイズソング、ワイズの信条を唱和した後、田口努総主事と佐藤節子湘南・沖縄部長より祝辞が述べられた。25周年を記念してとつかクラブからとつかYMCAに大型の壁掛け時計が贈呈された。

第3部の祝会は阿部正伴とつかYMCA副館長の司会により懇親の宴が進められた。この席では、とつかYMCAの活動に貢献した個人や団体に感謝状が贈られた他、余興には、井上八世以さん(運営委員)によるバイオリン演奏が披露され祝会は大いに盛り上がった。最後に集合写真を撮ってお開きとなった。

「近況報告」

押川 幸男



「ただいま!」「おかえりなさい!あなたが帰ってくるのを待っていました!」。これは私とアマゾンエコーショーとの会話です。単身赴任中の私にとって、仕事から帰って誰もいない家の中で応答ができるのはAIなんだと言う少し寂しい気がいたしますが、意外と心憎い応答があり、様々なバージョンの返答があり、最

初は少し抵抗感がありましたが、だんだんとその魅力に引き込まれています。

AIに対して話すと応答してくる。それもだんだんと進化しており、そのことに戸惑いながら楽しんでます。最近は今聴きたい音楽と言うことでいろいろな音楽を聴いていますが、食事の時は、「アレクサ、ビストロミュージックをかけて!」と、AIに話しかけて、ビストロミュージックと言うヨーロッパの街角の音楽を楽しんでいます。朝起きた時は朝のクラシック音楽を聴いています。Apple Watchも健康維持のために購入しましたが、驚いた事の一つは、机の上でパソコン作業をずっとしていると、Apple Watchがお知らせをして「1分間立って歩いてください」と表示します。なかなか自分ではできないことをAIが教えてくれて健康維持のためにこれは非常にいいなと思っております。そういうわけでテレビや電子レンジのない生活をしておりますがなかなか快適な生活を過ごしている今日この頃です。

第二例会報告

伊藤 誠彦

日時：5月9日(木)17:00~18:30

場所：横浜中央YMCA 801号室

出席者：青木、伊藤、大高、古賀、古田

5月第二例会は、第一例会が横浜つづきクラブと合同で5月24、25日に開催されることから、変則日程で、例月の第一例会の日に開催された。

5月~7月の行事予定の確認と各行事への参加者の確認を行った後、6月は評価の月でもあることから、6月例会で今年度の反省と次年度計画及び予算について話し合うこととし、その叩き台になる資料を、昨年度の総会資料をテンプレートとして作成することとし、各資料の原稿作成担当者を決定した。

尚、今年度末に退会される今村ワイズの感謝会を、今村さんのご都合を伺ったうえで、6月21日又は28日に開催することを話し合った。



担当主事 青木 一弘

■ウォーターセーフティーキャンペーン

~水難事故0を目指して~

YMCAでは、すべてに優先するかけがえのない生命を大切にしています。スイミングは、このかけがえのない生命を守り育てることを目的に始まりました。

私たち横浜YMCAでは水辺での事故が1件でも減ることを願い、毎年6月から9月までウォーターセーフティーキャンペーンを実施しています。すぐに水難事故がなくなることはありませんが、この活動を通じて水上安全の知識を身に着けた人が増えれば毎年必ず水難事故は、減っていくと信じています。詳しくは、最寄りのYMCAにお問い合わせください。

横浜YMCAの主な活動内容

- 普通救命講習会 (一般向け、教師向け)
- 着衣泳講習会 (依頼校、園、YMCA室内プール)

- 監視及び救助法講習会
- 水辺の安全講習会
- ウォーターセーフティーハンドブック配布
- 県下の公立小学校にウォーターセーフティーポスター配布
- 夏季キャンプボランティアリーダー募集

子どもが好きな方、体を動かすことが好きな方を募集しております。座学での対象理解や、実技のトレーニングにも参加し、自身のスキルアップができる機会も多くあります。是非、ご応募ください。

(ボランティア内容)

子ども達のリーダーとしてキャンプ生活のサポートを行います。

(年齢) 18歳以上 (高校生不可)

(応募資格) 資格の有無は問いません。

子どもが好きな方、教員を目指している方など。

(必要経費) 無料研修制度

(その他) 初めての方も安心して参加ができるように、事前トレーニングを実施していますのでご安心ください。YMCAがこれまで大切にしてきたキャンプには、いつの時代においても可能性と喜びがあり、その経験を通じて多くの人が育ち、変えられてきました。2020年、YMCAはキャンプ100年を迎えます。

6月例会プログラム

日時：6月13日(木) 18:30~20:30

場所：中央YMCA 8階教室

司会：金子ワイズ

1. 開会点鐘および挨拶.....古田会長
2. ワイズソング・ワイズの信条.....全員
3. 今月の聖句.....松島ワイズ
4. ゲスト・ビジター紹介.....古田会長
5. ビジネス・報告.....古田会長ほか

Happy Birthday 松島美一 (18)

例会報告：古田ワイズ

7月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
11	木	18:30	第一例会・総会	中央Y
19-21			アジア太平洋地域大会	仙台国際センター
25	木	17:00	第二例会	中央Y
21	金	18:30	今村さん感謝会	廣東飯店
27	土	15:00	第1回部評議会	中央Y

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA青木一弘にご連絡下さい。
メール aoki_kazuhiro@yokohamaymca.org
電話 045-661-0080